

えのもとだより



蜂刺症



アレルギーのある人や多数の蜂に刺されると死に至ることがあります

簡単な血液検査で蜂毒に対するアレルギーがあるか確認できます。

アナフィラキシーショック!
(急激なアレルギー反応)

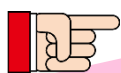


症状

むかつき・全身のだるさ・息苦しさ・じんま疹・冷や汗・
体のしびれ・脈が弱い・顔色が悪い・意識障害 等

これらの症状は・・・

- ◆ 頭や首を刺された時
- ◆ 以前に蜂に刺されたことのある人
- ◆ 刺されて1時間以内（15分以内とも言われます）
に起こりやすいと言われています。



蜂に刺されると必ずショック症状になるとは限りませんが
万一このような症状が出た場合は・・・

ショックの初期症状かもしれません!

すぐに**救急車**を呼び、**救急病院**に搬送してもらってください。
まれに翌日以降に起こる全身症状もありますので、
蜂に刺されたら症状が無くてもすぐに受診することをおすすめします。



蜂に刺されないために



- 蜂の巣に近づかない、振動等で巣を刺激しない
- 蜂を刺激するため、巣の近くでは香水・臭いの強い化粧品ヘアスプレー等は使用しない
- 蜂がいそうな場所で、果実やジュース等の飲食を避ける（蜂は樹液や甘い物に集まる習性があります）
- 攻撃性が強くなる、黒い物や純毛製品の着用を避ける
- 洗濯物のとりこみ時は中までチェック
- 車を停めておくときは必ず窓を閉める
- 蜂が近づいてきても、騒いだり追い払ったりすると危険！姿勢を低くして静かに速やかにその場所から離れる

もしも蜂に刺されてしまったら...

1. 刺されたらその現場からすぐ数十メートル離れる。（巣から離れる）
2. 刺された傷口を流水でよく洗い流す。ハチの針が残っている場合は、指でつまんで毒液を再注入しないようにそっと抜く。
3. 爪などで傷口周囲を圧迫し、毒液をしぼり出す。（ハチ毒は水に溶けやすいので、傷口から毒液をしぼり出すように、もみながら流水にさらすと効果的）
4. 抗ヒスタミン剤を含むステロイド軟膏などがあれば塗布する。
5. 濡れたタオル等で冷やし、安静にする。
6. すぐに近くの医療機関に受診する。状態によっては 119 番を！！

※ 蜂に刺された時の対処法として、アンモニア水を刺さされた場所にかけるというものがありますが、これは効果がないだけでなく、かえって皮膚炎を引き起こすこともあるのでやめてください。

ハチ刺症によるアナフィラキシー症状を緩和するための自己注射器
”エピペン” が、医師の処方により携帯できるようになりました。

アドレナリン自己注射器
(商品名:エピペン®注射液 0.3mg)

